

BILANC

ビランク
vol.33

未来のために、 私学とともに

教職員の待遇の安定と向上のため、学校法人の経営を
支援することにより、広く社会に貢献しています。

特集 心も体も、ホッと一息 疲労回復のスキル

菅原洋平
(作業療法士)
友野なお
(睡眠コンサルタント)
仲野孝明
(姿勢治療家®)



Officer Message

- 3 求められる役割を果たすために安定と変革を
●芝井敬司（私立大学退職金財団評議員）

特集 心も体も、ホッと一息

疲労回復のスキル

- 4 ▶ 脳を正しく休ませる3つの方法
●菅原洋平（作業療法士）
- 6 ▶ 目覚めが変わる「入眠」大革命
●友野なお（睡眠コンサルタント）
- 8 ▶ 「姿勢改善」で健康を手に入れる！
●仲野孝明（姿勢治療家®）

Focus

- 10 理事会・評議員会開催報告
▶ 事業計画の概要
▶ 収支予算の概要
▶ その他の決議事項など

連載 Campus Cafeteria Collection ⑤

- 13 攻めのメニューで楽しませる
●大-TAI-／和-WA-（大和大学）

連載 大学ミュージアム図鑑 ①

- 14 学生と歩み、成長する博物館
●恐竜学博物館（岡山理科大学）

連載 ワンポイント 復習講座 ③

- 16 大学における「合理的配慮」の現在地
●井上秀和・伊藤由美（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所）
▶ Case Study 駒澤大学

維持会員通信

片柳学園／園田学園／東京電機大学

対談 私立大学等の今を聞く

- 22 時代が求める人材輩出を
●芝井敬司（関西大学理事長）／守田芳秋（私立大学退職金財団常務理事）

BILANC（ビランク）とは、“つり合い”“均衡”を意味する「バランス」の語源となったラテン語で、当財団と維持会員が、バランスを保ちながら、ともに歩んでいきたいという思いを込めています。

表紙撮影：加々美義人



関西大学の理念として「学の実化」を提唱した
総理事・学長 山岡順太郎と共に。

Officer Message

私立大学退職金財団評議員

芝井敬司

2017年6月に私立大学退職金財団の評議員に着任し、7年目を迎えました。公益財団法人として安全、適正な事業運営が強く求められる一方で、昨今の金利情勢やDX推進など我々を取り巻く環境変化は著しいものがあり従来の取り組みだけでなく新たな視点(変革)による事業運営も必要であるなどの意見を評議員会で申し上げました。運用で得た利息等の複線型運用や、新システム構築では押印撤廃などの事務の省力化を実現すべき等の意見には、真摯にお応えいただきました。

新型コロナウイルス感染症によって、各学校法人は多大な影響を受けました。私たちが最も考えるべきことは、学生の人間的な成長です。アフターコロナの今、正規の授業に加え、課外活動、スポーツ活動、ボランティア、インターンシップなど多彩な選択肢を用意し、彼らを支え、背中を押してやる。それができるのが私立大学等の強みです。今後における厳しい学校運営を乗り越える一助として、本財団は変革と持続とともに重視して進むことが重要だと考えています。

profile …(しばい・けいじ) 学校法人関西大学第21代理事長。1984年より関西大学に着任し、文学部教授、文学部長、副学長、第42代学長を歴任。2017年より私立大学退職金財団評議員。

疲労回復のスキル

日常で実践できる疲れをとる手法を「休み方」「睡眠」「姿勢」の観点から紹介します。

「休み」のとき、皆さんはどう過ごしていますか？

仕事の休憩時間にスマホをいじったり、休日にはつい動画を見続けたり……こうした休み方では脳の疲労を回復させることはできません。逆に、スマホなどの画面を見続けることは、脳のリソースをかなり使用してしまいます。

脳は、どんな些細なことでもエネルギーを消費し、その消費は「認知コスト」と呼ばれます。エネルギーは有限ですから、お金と同じように無駄なコストは減らして、本当にやりたいことにつぎ込まなくてはなりません。疲労を避けるためには、無駄な認知コストを減らし、脳が働きやすい作業環境・休息環境をつくって、脳の負荷を減らす必要があるのです。

また、「活動中(オン)」と「休み(オフ)」の差をなるべくつけず、「急ブレーキ・急発進」を避けるのが、脳にとっては好ましい働き方。なぜなら、人間の体は、オン・オフのギャップが少ないほど、スムーズに次の行動に移れる仕組みになっ

ているからです。

今回は、私の推奨する「働きながら休息できる習慣づくり」について紹介します。

無駄な認知コストを減らすコツとは

脳は、「記憶する」という性質をもっています。脳が過去の記憶に基づいて予測した行動と、実際の行動とがマッチしていれば、新たに認知コストはかからないので、疲労にはつながりません。逆に、予定外の行動をとると、脳には大きな負担となってしまいます。

この特性を踏まえ、認知コストを減らす方法を3つお伝えします。

1つ目は、デスクではお茶を飲まないなど、「1スペース1作業の法則」。デスクは本来仕事をする場所です。脳は、記憶から同じ場所ですべての行動を再現します。いつも仕事をしている場所で「お茶を飲む」「休憩する」といった予定外の行動をとると、新たに認知コストがかかってしまいます。作業をする

場所はなるべく1か所に固定して、脳を集中に導くようにしましょう。

2つ目は、作業を終えたら、次の工程に「少しだけ着手する」。これは「先延ばしを防ぐ」ともいえます。作業が完全に区切られて、新たに別の作業を始めることは脳にとって負担です。それがやりたい作業でないときには「面倒くさい」という気持ちが強まります。例えば、会議終了後に議事録を1行だけ書いておく。夕食後にお皿を1枚だけ洗ってみる。そうすると、作業を再開するときに脳は「さっきの作業の続きをする」と認識するため、すんなりと体に命令することができます。「面倒くさい」は、脳が次の行動を負担に感じることから出てくる気持ちなのです。

3つ目は、「〇〇しなければならぬ」ではなく、「〇〇する」と言い切ること。脳は、口に出した言葉をもとに次の行動の準備をします。「〇〇しなければ」という言葉は、脳にとっては「する」か「しない」かがわからないため、判断に負担がかかります。なるべく具体的に、やるべきことを言語化して口に出してみましょう。

朝イチはメールを見ない！
脳の働き方改革

続いて、ビジネスパーソンが陥りがちな、疲労につながる習慣を3つ紹介します。

1つ目は「朝イチのメールチェック」。出勤前に「今日はこれとあれをやろう」と、自分の仕事に向けて脳が準備をしているのに、朝イチ



作業療法士 菅原洋平

(すがわら・ようへい) ユークロニア代表。国際医療福祉大学卒業後、国立病院機構にて脳のリハビリテーションに従事。東京都千代田区のベスリククリニックで外来を担当しながら、ビジネスパーソンのメンタルケアを専門に、生体リズムや脳の仕組みを活用した企業研修を全国で行う。著書に『疲れない！ 休み方マネジメント』(河出書房新社)、『めんどくさい』が消える脳の使い方』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)など。

でメールを見ると、他人からの要求に応じる必要が出てきます。他人に合わせる行動は、脳が疲れやすい。10分でもいいので、まずは自分がその日に予定していた仕事に着手しましょう。

本当に緊急なことがあれば電話がくるでしょうし、まずは自分で仕事の主導権を握ることが大切です。もしも困ったらすぐに戻せばいいので、1日だけでも試してみたいかがでしょうか。

2つ目は「予定を立てないで場当たり的に動くこと」。目的に対して、どのくらいの時間、どういったテンションで臨めばいいかがわからないため、認知コストがかかります。脳にとって、下準備は疲れにくいための重要なポイントです。スマホがあるとすぐに調べられるので、つい場当たり的に動いてしまいがちですが、脳に「下見」をさせるつもりで準備に取り組むといいでしょう。

例えば、何か作業を始めるときには「今から10分間、この作業をしよう」と自分で時間を区切り予定を立てるのも効果的。脳は過去10分間でどんな作業をしたかを検索し、その時と同じテンションになってくれます。自分がその作業をするのにどのくらいかかるのか、認識することも重要です。自分の業務にはそれぞれどのくらいの時間がかかるのか、作業時間を測ってみるのもおすすめです。

3つ目は「休憩をとらない」こと。何時間でも働き続ける人がいますが、ハイパフォーマンスを維持できずにはありません。脳は臓器

図表② 休憩をとる4つのタイミング

5分	同じことを考え続けられる上限は4分半。 5分考えてもアイデアが浮かばなかったら、一度休憩する。
15分	16分に1回、マインドワンダリング(思考の迷走)が起こる。 調べ物は15分で切り上げる。
30分	血流が滞り始めるので、姿勢を変える。 立ち上がって10秒歩くだけでもよい。
90分	知的作業の限界は90分。 どんな作業でも、一旦切り上げて休憩する。

であり、しっかり機能させるためには休みは不可欠。同じ臓器の胃で考えれば、たくさん食べ続けたら胃もたれすることはわかりますよね。休憩には、「5分・15分・30分・90分」という4つのタイミングがあるので、参考にしてみてください(図表②参照)。

どんな意識で働くかは自分で変えられる

職場で休憩をとるときに意識してほしいポイントがあります。まずは、モニターやスマホの画面などから「視線を外す」こと。1カ所に焦点を合わせてじっと見る行動は、いわば情報を「食べている」状態。遠くの景色をぼんやり眺めて、情報を消化するモードに切り替えましょう。脳の働きが活発になり、アイデアがひらめきやすくなるというメリットもあります。

「体を動かす」ことも大切です。休憩のついでに少し歩いたり、その場に立って足踏みしたりするだ

けでも、股関節が動いて血流を良くする(＝疲労回復しやすくなる)ことにつながります。

休日の過ごし方としては、「何もしない」「寝溜め」はNG。平日とのギャップを出さないためにも「何かする」のが正解です。特に推奨したいのは、他人と感情を共有すること。誰かと一緒に何かをやって「楽しかった」という気持ちを共有することは、脳を「競争モード」にする交感神経を休ませることにつながります。

また、「五感を使う活動」もおすすめ。触覚や嗅覚などの感覚に集中しているときは、後ろ側の脳(頭頂葉)が働いて、判断したり悩んだりする前側の脳(前頭葉)を抑制するので、悩みから解放されてスッキリします。靴磨きや、台所のシンク磨きもいいかもしれません。

会社が決める「働き方」を変えることは難しくても、仕事に臨む姿勢は自分で変えられます。気軽に“実験感覚”で、疲れにくい働き方を試してみてください。

B

睡眠コンサルタント 友野なお

(ともの・なお) 順天堂大学 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程にて睡眠を研究し、修士号を取得。株式会社SEA Trinity代表取締役。自身の睡眠改善により、ダイエットや重度のパニック障害の克服などに成功した経験から、行動療法からの睡眠改善に関する講演や執筆活動を行う。著書は『ぐっすり眠れる不思議なぬり絵』(西東社)シリーズなど。



心も体も、ホッと一息

疲労回復のスキル

特集

図表② 効果的な「パワースナップ」3つのルール

- ① 眠る時間は20分以内(60歳以上なら30分)
→ 昼寝はあくまでも「仮眠」
- ② 椅子に座ったまま眠る。
背もたれに寄りかかるか、うつぶせでもOK
→ 横になるとそのまま眠り込んでしまうため
- ③ 昼寝の前に、コーヒーを飲む
→ 30分後にカフェインの覚醒作用が効いてくる

に立ち、15秒間空を見上げること。幸せホルモンといわれるセロトニンの分泌が後押しされて、日中意欲的に活動できます。人間は、太陽の光が目に入ってから14～16時間後に、睡眠ホルモンのメラトニンの分泌が始まる予約のスイッチが入るため、夜のスムーズな寝つきにもつながります。

2つ目は朝食。起床後1時間以内に、アミノ酸の一種トリプトファンが含まれる食品を摂りましょう。手軽なのはバナナです。トリプトファンはセロトニンの原料になるのですが、セロトニンがうまく分泌されればメラトニンも促進され、オン・オフのリズムが整います。

3つ目が昼寝(パワースナップ)。ビジネスパーソンにぜひ取り入れてもらいたい習慣です。昼寝は、認知症や心臓病のリスクを低下させることが期待でき、脳の疲労を回復させて午後のパフォーマンスアップにもつながります。効果的な昼寝のためには簡単な3つのルールがあるので、参考にしてみてください。(図表②参照)

逆に、避けたほうがいい習慣もあります。ついやってしまいがちなのは、就寝前にスマートフォンを使うこと。寝る30分前にはスマホは見ないようにしましょう。SNSやニュースを見ることで“共感性疲労”も溜まってしまいます。また、21時以降は、コンビニエンスストアに行くのを避けましょう。コンビニの白くて強い照明を、からだが太陽の光と錯覚してしまい、活動スイッチが入ってしまいます。

入浴を「シャワーだけ」で済ますのもおすすめしません。理想は就寝1時間前、38～40℃の浴槽に15分程度じっくり入ること。難しければ、43℃のお湯で10分間、足湯をしてみましょう。それもできないという日には、レッグウォーマーを履き、ドライヤーの温風を上から当てることで、足首をあたためるのも眠りに効果的です。

快眠のためにできることは、起きた瞬間からあります。「全部できなくても大丈夫!」というおおらかな気持ちで、できることから続けてみてくださいね。

B

寝返りは、就寝中に行う無意識の運動。血液や体液の循環を促し、からだにかかる圧を分散させてくれます。寝返りがスムーズにできないと、睡眠の途中で目が覚めてしまい、熟睡感も得られません。

もう1つ、試してほしい習慣が「寝る前の6分間読書」です。英国の研究で、「6分間の読書」を継続することでストレスレベルが下がることがわかりました。どきどきするような本ではなく、結末を知っているお気に入りの本がいいでしょう。絵本や子ども向けの書籍、「いつか行きたい場所」のガイドブックもおすすめ。日常生活と切り離された内容の本を読むことで、ストレスから無意識に距離をとることができ、心穏やかな状態で眠りにつくことができます。

こうした習慣を取り入れてスムーズに眠れることができれば、それは自分だけの「入眠儀式」となります。私の入眠儀式はパジャマを着ることですが、ほかに、深呼吸する、白湯を飲む、好きな香りをかぐ……などが考えられます。簡単なことでいいので、「自分はこうすれば穏やかに眠れる」という行動習慣を見つければ、「眠れる自分」をつくることができます。

朝日、バナナ、昼寝……
日中にできる快眠対策

寝つきの改善以外にも、睡眠の質を高めるために日常で実践できることはたくさんあります。ここでは3つ紹介しましょう。

1つ目は、起床したらすぐに窓際

その後も眠りのリズムが崩れます。思考もネガティブになって、ますます眠れなくなるという負のループに陥り、結果的に睡眠の質・量ともに低下してしまうのです。この傾向は特に女性に多く、男性では50代によく見られます。危険なのは、寝室を「不安な場所」と潜在的に捉えるようになってしまうこと。不眠傾向を招き、長期的に眠りの質が悪化してしまいます。

「眠れない」と感じたら、一度寝室から出て、塗り絵や編み物、靴磨きなど単調な作業を試みましょう。その際に大事なのは、光の刺激を受けないことと、時計を見ないこと。「〇時までには寝る」と決めるのではなく、自分の感覚で眠くなったときに眠ることが大切です。ただ、「あと1時間で起きなきゃ」という場合は、思い切って徹夜をしても大丈夫。眠れないことを、ストレスになるほど思い詰める必要はありません。

安心して眠れる
自分だけの「入眠儀式」を

スムーズな寝つきや快眠を導く、具体的な習慣を2つ紹介します。

1つ目が、「パジャマを着て眠る」こと。パジャマを着ることで寝返りが打ちやすくなり、睡眠の質向上につながります。おすすめは、綿やシルクなど自然素材のもの。スウェットやジャージは本来外着で、厚めの素材でつくられているため、寝具との相性が悪く、うまく寝返りを打てません。吸水性にも乏しいので避けましょう。

睡眠は、心身の健康維持のために欠かせないもの。上手に睡眠がとれれば、病気になりにくくなる、仕事や勉強のパフォーマンスが上がる、気持ちが前向きになる……と、いいこと尽くめ。逆にうまく睡眠がとれないと、あらゆる病気のリスクが高まるばかりか、ストレスや不安感が増え、仕事・人間関係にも悪影響を及ぼしかねません。

睡眠の良し悪しは、「量」(時間)と「質」のかけ算で決まります。睡眠時間は7時間確保できるのが理想ですが、日本では、5～6時間程度の方が多いようです。睡眠時間の確保が難しい場合、まずは「質」を高めることを目指していきましょう。

良質な睡眠のカギは
スムーズな「寝つき」

質の高い睡眠をとるためには、スムーズな「寝つき」がポイント。睡眠中は、ノンレム睡眠(深い

睡眠)とレム睡眠(浅い睡眠)が交互に繰り返されています。ノンレム睡眠が最も深くなるのは、就寝して最初の3時間ほど。このとき成長ホルモンがたくさん分泌され、疲労回復を助けます。レム睡眠は、睡眠の後半に増える眠りで、脳に感情や記憶の整理を促します。嫌なことがあっても、翌朝にはニュートラルな状態で一日を迎えることができるのは、レム睡眠とノンレム睡眠がいいリズムで繰り返されるおかげです。

布団に入ってから5～10分程度で眠りに入るのが、理想的な寝つきです。逆に、布団に入っすぐ“ボタンキュー”と寝てしまうのは、疲れすぎている証拠。少しまどろみ、リラックスした状態で寝つくと、スムーズに深い眠りへ入ることができます。レム睡眠とノンレム睡眠がバランスよく繰り返されるため、睡眠の総合的な満足度が高まるのです。

ところが、布団に入ってから30分以上経っても眠れない状態が続くと、

図表① 「入眠儀式」4つのポイント

- ① 毎回お金がかからないこと
→ 続けやすいことが大事です
- ② 苦痛ではないこと
→ 自分がリラックスできる行為
- ③ 大きな物を必要としないこと
→ 旅先や出張先でも再現できます
- ④ 簡単であること
→ 行動習慣にしやすいです



疲労回復のスキル

「姿勢改善」で健康を手に入れる！

「なんとなく疲れる」「朝からだるい」「やる気が出ない」それらの体調不良は、もしかすると“姿勢の悪さ”が原因かもしれません。悪い姿勢は、腰痛や肩こりだけでなく、全身の倦怠感や、気分の落ち込み、イライラなど、メンタル面にも影響を及ぼしてしまうのです。

それは、脳につながる「脊髄」が深く関係しています。脊髄とは、脳からつながる太い神経のことで、脳の指令を伝えたり、各器官からの情報を集めたりする重要な神経回路。その脊髄を守るのが背骨です。背骨が曲がると脊髄から出ている脊髄神経が圧迫されて、脳との情報のやりとりに支障が生じます。その結果、からだや心に不調をきたすのです。

肩が内側に入った猫背の姿勢は、見た目が美しくないだけでなく、肺が圧迫されて呼吸が浅くなり、酸素不足の状態を引き起こします。酸素が不足すると、疲労感の高まりやネガティブ思考など、感情面にも大きな影響があります。

からだも心も疲れにくくするためには、まず生活の中で「姿勢を意識してみること」。それから、「正しい姿勢で生活すること」を目指していきましょう。

「背伸び」をすれば正しい姿勢に

着物を着て正座をする生活だった昔の日本では、帯によって背骨が支えられ、背筋のすっと伸びた人がたくさんいました。ところが、西洋文化が広がり、洋服と椅子の生活に変化するにつれ、だんだん姿勢が悪くなっていきます。さらに近年は、パソコンやスマートフォンの登場で、画面をのぞきこむようにうつむいた姿勢をとることが増えました。これでは、首の骨や筋肉に過度な負担がかかってしまいます。

もしかすると、「姿勢をよくしているよりも、椅子にもたれているほうがラク」という方もいるかもしれません。それは、からだが正しい姿勢をとれないほどに疲れ切っ

ている証拠。「ラク」な姿勢を続けていると、そのまま介護生活へ突入してしまう危険もあります。

長年の癖を直すことは難しいと思われがちですが、今すぐ・誰でも・簡単に、姿勢を改善する方法があります。それは「背伸び」です。背伸びをするだけで背骨のラインが、その人にとっての“正しい位置”に戻るのです。やり方は、①足を平行にして肩幅に開き、親指と小指の付け根、かかとの3点を意識して立つ ②手を正面で組んで手のひらを返し、肘を伸ばして腕を真上に上げていく。可能であれば、手の甲を見ながら顔も上げる ③からだを上下に引っ張るように、思い切り伸ばす ④あごを引いて顔を正面に戻し、手を左右からゆっくりおろす、というものです。

からだが固くて手を上に伸ばせないという人も、習慣として繰り返すうちに、気持ちよく伸びるようになりますよ。

工作中であれば、座ったままの背伸びもいいでしょう。背伸びができない環境なら、身長を測るときに背筋を正すようなイメージで、耳の後ろを上を引き上げてみてください。すると、「あごを引く」「胸を張る」「肩甲骨を寄せる」というきれいな姿勢になります。歩くときや走るときも、この姿勢を意識してみてください。

座る姿勢にも要注意。ポイントは、「正しい姿勢で座ること」。椅子に座るとき、背筋を伸ばしたまま股関節からおじぎをし、その体勢で腰を下ろします。背もたれと腰の間に隙間をつくらないことも

ポイントです。隙間ができてしまうときは、クッションやカバンを置いて大丈夫です。

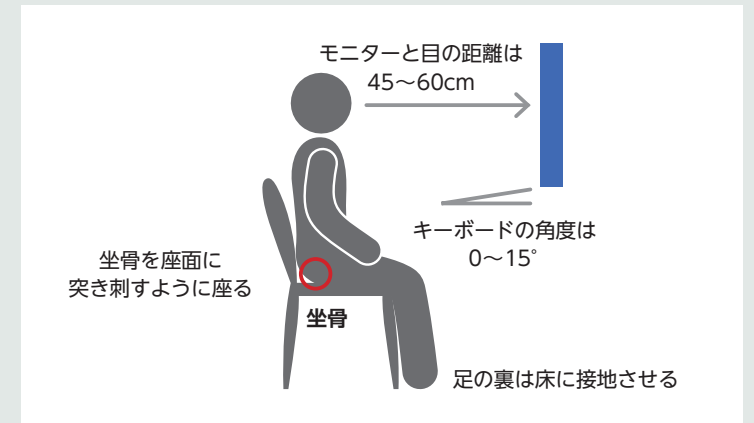
デスクワークは「立ってやる」が正解

背伸び以外にも、正しい姿勢づくりにつながる工夫はあります。ビジネスパーソンにおすすめしたいのは、「立って仕事をする」こと。人間はそもそも二足歩行の動物で、立って生活するからだの構造になっているからです。背伸びが姿勢改善にいいとお伝えしましたが、ただ「立つ」だけでも、座るよりはずっといいです。長時間座りっぱなしでいると、徐々に背中が丸まってしまい、内臓が圧迫されて全身の血行不良につながります。

立って仕事をしていれば、ランチ後に眠くなることもありません。むしろ、集中力が高まり効率的に働けるという人が多いです。ところが、実際は「1日のうち12時間座りっぱなし」という人がほとんど。本当は、立つ・座る・眠るが、それぞれ8時間ずつの状態が理想的です。それは難しくても、座りっぱなしではなく、1時間に1回程度は立ち上がるようにしてください。

もう1つ試していただきたいのが、パソコンのモニターの位置を目線の高さまで上げること。高さを調整できるスタンディングデスクや、パソコンスタンドを活用するといでしょう。特に、ノートパソコンを使うときは、首を傾けて背中を丸め、モニターをのぞきこむ姿勢になってしまいがち。パソ

図表② 正しいパソコン姿勢



コンスタンドと外付けキーボードを使い、モニターの位置を目線と同じにすると疲れにくいです。

姿勢を改善することは、人生を豊かにすることにもつながります。とある50代の女性患者さんは、頭痛や肩こりがひどく、リンパの流れが滞って足がむくみ、鬱を発症して会社を休職。病院に通っても改善せず、私のところに来ました。姿勢を変えて背骨を正しい位置に戻したところ、まず全身の動きがよくなりました。だんだんと本人の治癒力が高まり、なんと半年後にはテニスをするまでに回復。自分に自信が付き、復職時期を勤務先と相談しているところです。

1つでいいので、ていねいに続ける

姿勢の話をご紹介しましたが、健康になるためにまず大事なのは「睡眠」です。「食事」はからだをつくる原材料として、「運動」は全身の血流循環のために必要です。そ

れらの土台が、正しい骨格や姿勢などの「構造」。人間しかコントロールできないといわれている「呼吸」を深くおこなえば、「精神」を安定させることができます。私は、これら6つをバランスよく実践することが、健康寿命を延ばすことにつながると考えています。

ここで紹介した姿勢改善は、すべて完璧にやる必要はありません。最初のハードルは低くして、1つでもいいので、できそうなことを「ゆっくり、ていねいに」続けるのがコツです。毎日繰り返せば、自然にもう1つ試したくなり、やがて疲れにくいからだが入ります。また、自分のからだに対して、劣化のイメージをもたないことも大切。気分はからだに大きく影響します。年齢を重ねることからだが劣化していくイメージは捨て、「昨日よりも、からだがラクな気がする!」と、ポジティブに“勘違い”しましょう。人生の中で今日がいちばん若い日なので、始めるのに遅すぎることはありません。 **B**

図表① 正しい立ち方のポイント



両足を肩幅に開いて立ちます。その際、親指と小指の付け根、かかとの3点を意識してください。中指とかかとを結んだ線が、左右で平行になるのが正しい立ち方です。

理事会・評議員会開催報告

事業計画の概要

■ 事業の運営方針

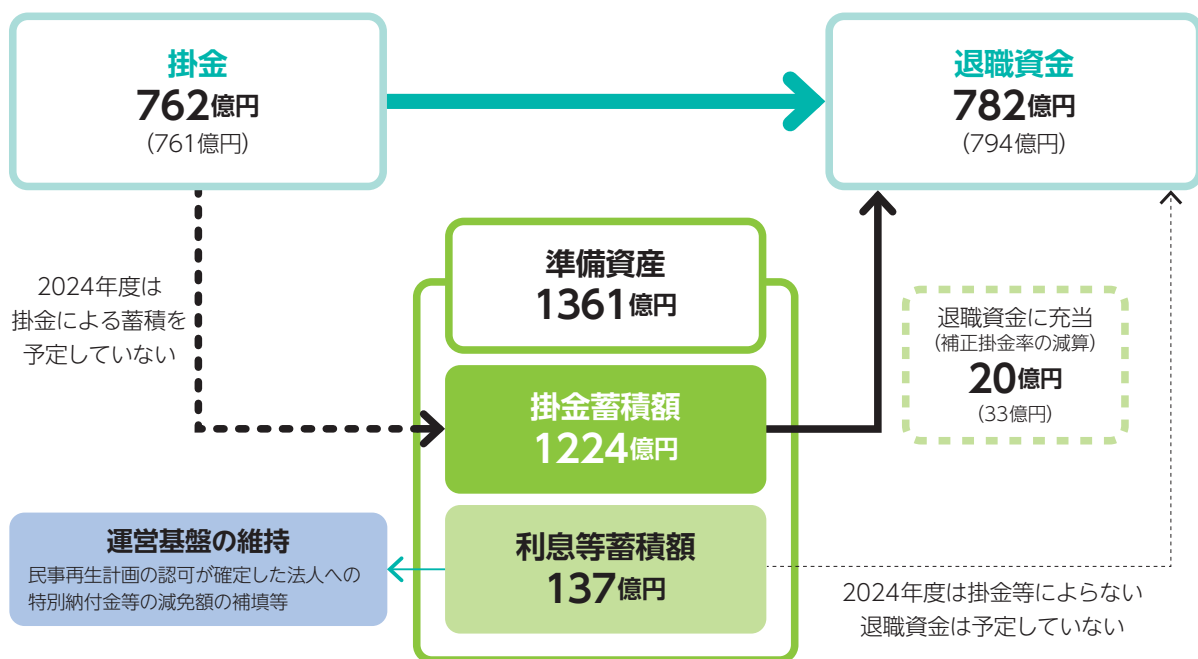
法人運営について

2024(令和6)年度は、社会・経済環境の厳しい変化や経済動向などを注視しながら、業務執行に関わる体制の整備を一層強化してまいります。法人運営にあたっては、状況に応じてWeb会議等を利用し、理事会、評議員会の定例開催、監事及び会計監査人による監査、理事長会議や常務理事会議を通じ、事業計画を安定的な事業運営のもとで進めてまいります。

退職資金交付事業について

第12次掛金率を適用する最終年度となる2024年度は、登録教職員数は13万7千人、掛金は762億円、退職資金は782億円で、差額の20億円は準備資産から充当することを計画しました。これは公益財団法人移行時の2013(平成25)年度からの運営方針「21年後に保有する準備資産を計画的に取り崩して退職資金の1年分相当額とする」よう実施しているものです。

■ 退職資金交付事業に係る収支計画



※()は2023年度の事業計画の値

■ 業務説明会を開催予定

2024年度は、第13次掛金率及び新退職資金申請システム(ターマネージャ)に関する説明会を実施します。

併せて、利用手順書や動画による説明を充実させ、維持会員への周知とスムーズな移行につなげます。

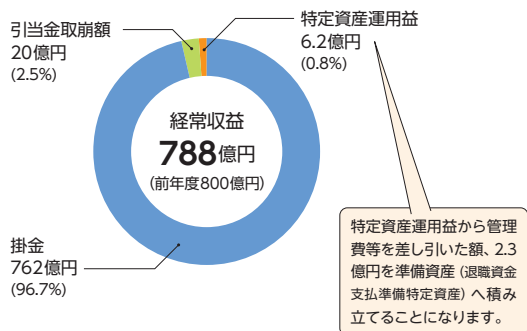
開催予定時期・場所

第13次掛金率関係: 2024年7月(東京・京都)
新システム関係: 2024年9~10月
(札幌、東京、名古屋、京都、福岡)

収支予算の概要

■ 経常収益

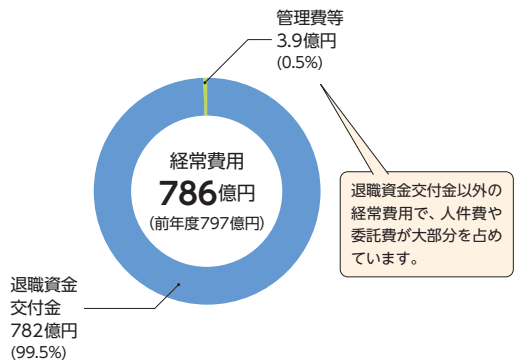
事業収入(掛金)は、第12次掛金率の推計額である762億円としました。また、退職資金支出が掛金を上回る20億円を準備資産(掛金蓄積分)から取り崩すこと(引当金取崩額)などにより、経常収益計は788億円としました。



科目	2024年度	2023年度	増減額
基本財産運用益	120万円	120万円	0円
特定資産運用益	6億1755万円	6億2240万円	△ 485万円
事業収入(掛金)	762億円	761億円	1億円
登録料	1019万円	1018万円	1万円
加入金	9万円	9万円	0円
引当金取崩額	20億円	33億円	△ 13億円
経常収益計	788億2903万円	800億3387万円	△ 12億484万円

■ 経常費用

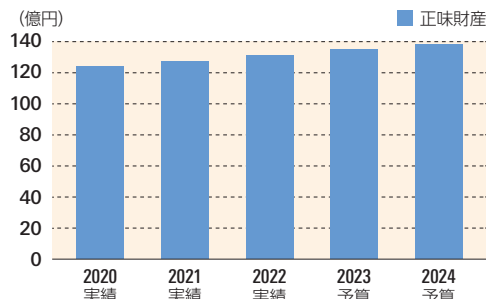
退職資金交付金は、3年ごとに実施する将来推計に沿った計画をもとに、前年度より12億円減の782億円としました。退職資金交付金以外の費用は、新システム関連経費等を見込み、経常費用計は、786億円としました。



科目	2024年度	2023年度	増減額
退職資金交付金	782億円	794億円	△ 12億円
役員報酬	2865万円	2865万円	0円
給料手当	9269万円	9269万円	0円
減価償却費	3604万円	424万円	3180万円
賃借料	1643万円	1613万円	30万円
委託費	1億3212万円	1億768万円	2444万円
その他	7725万円	7266万円	△ 1663万円
引当金繰入額	228万円	228万円	0円
経常費用計	785億8546万円	797億2433万円	△ 11億3887万円

■ 経常増減額と正味財産

資産の減少及び国債等の運用環境を勘案し当期経常増減額は2億4357万円と見込みました。その結果、正味財産期末残高(ほぼ利息等蓄積額「退職資金支払準備特定資産」)は、138億円としました。



科目	2024年度	2023年度	増減額
経常収益計	788億2903万円	800億3387万円	△ 12億484万円
経常費用計	785億8546万円	797億2433万円	△ 11億3887万円
当期経常増減額	2億4357万円	3億954万円	△ 6597万円
一般正味財産期末残高	137億1065万円	133億6987万円	3億4078万円
指定正味財産期末残高	1億円	1億円	0円
正味財産期末残高	138億1065万円	134億6987万円	3億4078万円

その他の決議事項など

■ 新システムの公開に向け業務方法書等を改正

2024(令和6)年11月予定の新退職資金申請システムの公開に向け、2024年2月20日に開催された第34回理事会で退職資金交付業務方法書等が一部改正になりました。施行日は、新システムの公開日となります。改正後の規定は当財団Webサイトに公開しています。

主な改正点

・退職資金交付申請のオンライン申請が可能に

退職金の受領を証する書面について、退職資金申請システム(ターマネージャ)にPDF形式でアップロードできるようになり、郵送の必要がなくなります。

・退職資金受領書の廃止

当財団から交付された退職資金を受領した都度、当財団に郵送していただいていた「退職資金受領書」を郵送費の節減など効率化の観点から廃止します。

・届出期日等の取扱いの変更

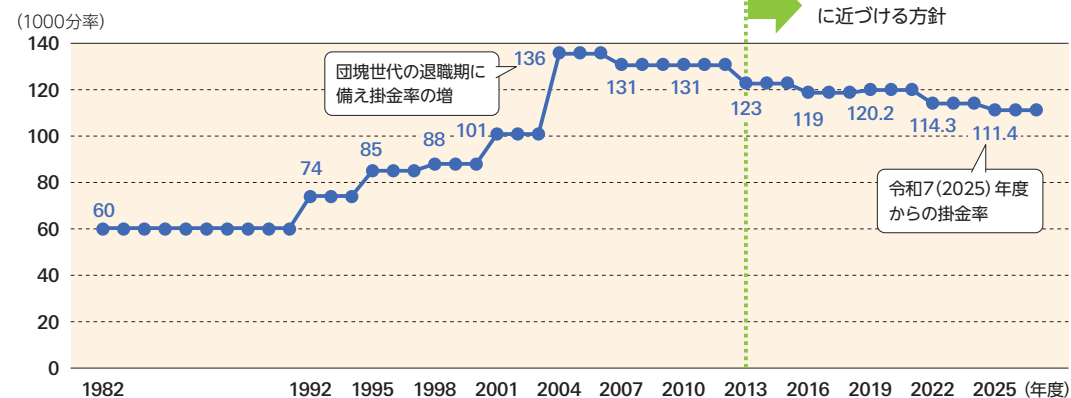
新システム移行後は、期日が土日祝日等であっても、届出期日は毎月10日22時まで、負担金の納入期日は月末日となります(口座振替日は翌金融機関営業日)。なお、負担金の口座振替ができなかった場合でも即座に延滞金がかかることはありません。

■ 第13次掛金率の基本方針が決定

2025(令和7)年度から2027(令和9)年度まで適用予定の第13次掛金率の基本方針が決定され、維持会員全体で退職資金の交付に必要な掛金率は、1000分の111.4(第12次掛金率は114.3)となりました。

掛金率は維持会員にそのまま適用されるわけではなく、個々の状況に応じて補正した掛金率が適用されます。掛金率の補正方法については、第12次掛金率と大きな変更はありません。詳細は次号以降でご紹介します。

掛金率の推移



■ 理事の就任・退任

理事

就任 (2024年3月8日)	森 康俊 (関西学院大学学長)	退任 (2023年12月15日)	阪本 浩 (前青山学院大学学長)
-------------------	-----------------	---------------------	------------------

訃報 当財団元理事長の原田嘉中先生(学校法人千葉学園前理事長)が2024年2月21日に逝去されました。ご生前のご功績に深く感謝するとともに、謹んで哀悼の意を表します。
 〈任期〉監事 1985年4月1日～1993年3月31日 理事長 2001年4月4日～2005年3月31日



攻めのメニューで楽しませる

大-TAI- / 和-WA- (大和大学)

鉄板メニューは
音と匂いも味わって!



2021年にオープンした学食「大-TAI-」とカフェテリア「和-WA-」。大学名と同じ漢字の店名には、「対話の場」という意味も込められています。

「大-TAI-」では、定食、カレー、麺



アツアツの鉄板料理がお手頃価格。

などのカテゴリごとに、毎日異なるメニューを提供。吉野家やゴーゴーカレーなどの企業コラボメニューが登場することも。手づくりパンなどを提供する「和-WA-」は、ゆったりした空間が印象的で、グループ課題に勤しむ学生の姿も見られます。

日替わりメニュー充実の理由は学生の心の充電に加え、なるべく多くの時間を学内で過ごし、学内での時間を楽しんでほしいからだそうです。

月1～2回の「攻めの学食キャンペーン」も人気で、採算度外視の面白

メニューが登場。過去にはスイーツだけで構成する「スイーツ定食」などを企画しました。好評だったのが、ネパール人シェフが窯を持ち込み、焼き立てのナンを提供した「ナンカレー」。香りに誘われる人が続出したそうです。定番メニューでは「鶏の唐揚げ定食」が人気ですが、鉄板料理も好評。「チーズハンバーグ定食」は、肉汁ととろけるチーズの相性が抜群です。

今年4月からは、学生数の増加に伴い座席を増設。サービス精神旺盛な、攻めの学食の快進撃は続きます。

日本でここだけ
貴重な化石コレクション

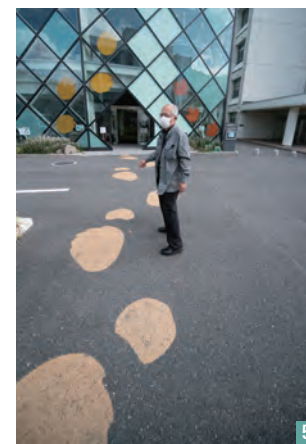
恐竜化石の宝庫といわれるモンゴルのゴビ砂漠で発掘された貴重な化石標本やレプリカなどを、岡山理科大学のキャンパスで楽しむことができます。

岡山理科大学とモンゴル科学アカデミー古生物学研究所は、長年にわたりゴビ砂漠で、恐竜化石の発掘や地質調査を行ってきました。その成果の一部を、C2号館1階にある恐竜学博物館メイン展示エリアを中心に、キャンパス内の4館7カ所に展示しています。例えば、日本ではこの場所でしか見られないゴビハドロスの亜成体標本。この恐竜は白亜紀に大繁栄したハドロサウルス類の原始的な種で、発掘された良好な化石を研究することによって、ハドロサウルス類の初期進化が解明されつつあるといえます。

学生と歩み、成長する博物館



恐竜学博物館 (岡山理科大学)



1 C2号館1階のメイン展示室でひととき目を引く、肉食恐竜タルボサウルスの頭骨標本。2 C2号館3階では各分類群の代表的な恐竜を展示しており、恐竜学・古生物学を系統的に学ぶことができる。化石の保存などのため、展示の多くはレプリカだが、ここではコリトサウルスの全身骨格の実物を展示しているのも特徴。写真は、アロサウルスの全身骨格。3 A1号館1階にあるタルボサウルスの全身骨格。学生が組み上げたものだ。4 C2号館1階には貴重なコレクションがずらり。化石処理室・研究室もあり、化石をクリーニングする様子をガラス越しに見学できる。5 50周年記念館前の地面には、足跡化石を実物大でペイント。同館には竜脚類の足跡化石のレプリカなどを展示している。6 A1号館4階では、石垣教授のモンゴルでの発掘調査を再現。実際に使用したテントや発掘道具、発掘現場の実物大写真なども展示している。

「研究プロセス」を見せる展示を、4つの建物で展開

「ほかに、ここでしか見られない標本はいくつもあります。A1号館1階には、モンゴルを代表する大型肉食恐竜タルボサウルスの全身骨格も。訪れた方は、その迫力から足を止めて写真を撮ることが少なくありません」

こう語るのは、館長であり、恐竜の足跡研究を行っている石垣忍教授。ゴビ砂漠の白亜紀末期の地層で竜脚類の足跡化石を発見するなど、これまでに1万5000点を超える足跡化石を発見・研究し、恐竜の生態解明につながる発見をした、実績のある研究者です。

レイアウトから音声解説まで
学生が積極的に参加

化石標本だけでなく、キャンパス内の数カ所に恐竜時代の植物(シダ植物や裸子植物)が植えられ、恐竜の食物が見られるのも、岡山理科大学ならではの。ほかに、ゴビ砂漠の発掘現場をパネルや写真で再現したスペースや、化石クリーニングの実演など、趣向を凝らした展示を通じて、恐竜研究のすべての過程を知ることができます。

加えてこの博物館で特筆すべきは、標本や展示づくりに学生が深く関わっていることでしょう。

「タルボサウルスの全身骨格は、教職員も協力していますが、学生が卒業研究として組み立てたものです。どこにどのような展示物を置くべきか、館内のレイアウトを決めるときも学生が参加していますし、標本や恐竜植物園の植物のことを知ってもらおうと、二次元コードを読み取って聞く音声解説をつくったのも学生です。つまり、学生と一緒にってつくり上げている博物館ということになりますね。そこが、教員にとっても新鮮で楽しいところです」

取材時には一般の見学者も来館しており、入館無料で気軽に楽しめる博物館として、地域で親しまれています。B

ワンポイント 復習講座 第3回

大学における「合理的配慮」の現在地

2024年4月1日より、障害のある人への合理的配慮の提供が全国すべての私立学校において義務化されます。独立行政法人国立特別支援教育総合研究所で、障害者の教育に尽力する井上秀和さんと伊藤由美さんに、大学がすべき合理的配慮の基礎知識について伺いました。



井上秀和

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 総括研究員。発達障害のある子どもの教育の推進・充実に向け、教員や保護者への支援を図り、発達障害のある人が充実した生活を送れるよう、情報発信や啓発、調査研究活動を行っている。

伊藤由美

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター 総括研究員。地域や学校現場におけるインクルーシブ教育システムの推進を目指し、地域とともに直面する課題解決方法の検討、情報提供や研究活動に取り組んでいる。

合理的配慮の必要性

——今年4月から私立大学でも障害のある学生への合理的配慮が義務化されます。以前から、大学では障害者の受け入れを推進すべきとされてきましたが、その背景について教えてください。

井上 2016年に「障害者差別解消法」が施行され、国公立大学を含む公的機関では障害のある人への合理的配慮の提供が義務付けられました。合理的配慮とは、障害者が社会生活で障害のない人と同じように生活するために、障害の特性や困りごとに合わせて行われる配慮のことです。以降、国公立の大学では障害者を受け入れる土壌が整えられてきました。

伊藤 2018年には、高校でも通級による指導が制度化されています。これは、各教科の授業は通常の学

級で受けながら、障害による学習上又は生活上の困難の改善や、克服することを目的に、個に応じた指導や支援が受けられる制度です。就学前からの切れ目のない支援が、小・中・高とつながってきたことで、大学への継続が望まれています。——大学では障害のある学生の支援は進んでいるのでしょうか。

井上 2023年の日本学生支援機構の報告では、全体の学校数(大学・短大・高专)の約97%に、障害のある学生を支援する部署が設けられています。しかし、先に義務化された国公立大学と比べると、私立大学の支援は規模によってまちまちで、大学の規模によっては、人員不足から障害のある学生の受け入れをしても支援体制を整えきれていないケースもあります。——大学における、障害のある学生数の推移はいかがですか。

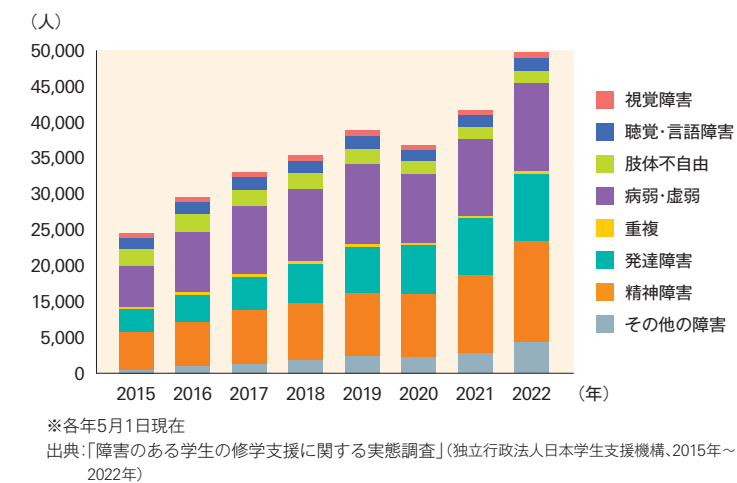
井上 全体の数としては増えています。視覚障害、聴覚障害、肢体不自由の学生は減少か横ばいで、大きく増えているのは病弱・虚弱、発達障害、精神障害の学生です(図表①参照)。ただし、障害への認知が高まった結果がデータとして表れているのか、以前と比べて障害のある学生の数が増えているのかは明言できません。

必要な支援は百人百様

——障害の特性ごとに、それぞれどのような支援が必要になるのでしょうか。

井上 視覚障害は、盲と弱視に分けられています。盲の学生には教科書の点訳、弱視の場合は拡大資料の準備などが挙げられます。聴覚障害であれば動画教材に字幕や手話をつけたり、講義にノートテ

図表① 障害のある学生の在籍者数



イク(講義内容などの音声情報を、リアルタイムに記述して伝える支援)をつけたりすること。肢体不自由の場合は休息スペースを設ける、病弱・虚弱の学生には出席に関する配慮、発達障害の場合は履修の配慮や学習指導、精神障害では課題の提出期限の配慮など、実にさまざまな支援内容があります。

伊藤 合理的配慮は、個々の求めに応じて行われるものなので、配慮の内容は一律ではありませんし、受け入れる大学にも対応できるものと対応できないものがあるという難しさがあります。

井上 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由の学生の場合は、自身が障害について把握しており、大学に何を求めるかも比較的是っきりしています。精神障害の場合は、まずは医療機関と連携しながら手助けをします。一方で、発達障害のある学生への支援は複雑です。——発達障害の学生は増加傾向にありますが、支援にはどのような難しさがあるのでしょうか。

井上 小・中・高では教員が生徒や保護者と一緒になって支援内容を考えますが、大学では本人からの申し出が前提になりますし、環境によってその困難の度合いが変

化することもあります。そのため、状況によっては困っていることの原因が分からず、支援の申し出ができないこともあります。——学生が通っていた高校と大学の連携も重要ですね。

井上 はい、高校で行った配慮について大学から学生の出身高校への照会も増えています。しかし個人情報取り扱いがデリケートで、高校側はどこまで情報を提供しているのか、悩みを抱えています。

伊藤 先ほどの切れ目のない支援にも関わりますが、特別支援学級に在籍していたり、通級による指導を受けたりしている児童生徒は、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行うための「個別的教育支援計画」の作成が各学校に義務付けられています。その資料を大学に引き継げればいいのですが、小学校まで通級指導を受けていても、思春期を迎えると他の生徒と異なることをすることへの抵抗感が高まり、通級指導を受けることをやめてしまう場合があります。すると、そこで支援が途切れて資料が引き継がれず、当然大学への情報提供もできません。——大学に入学した後に自分から合理的配慮の提供を求めるのは

ハードルが高そうですね。

伊藤 子どもたちは通級指導を受ける中で、自分はどういうシーンで困るのか、そのときどんな助けがあればいいのかということも徐々に学んでいきます。しかしその経験がないと、自ら大学の相談室に足を運んで、支援の要求を他人に伝えるのは困難です。

「学びラボ」で始める障害理解

——障害者支援に向けて大学は何かから始めたら良いですか。

伊藤 障害のある学生は、履修について困ることが多く、学生課などの窓口で対応が求められる場合があります。また、相談室の職員も特別支援教育の専門家ではないかもしれません。障害のある学生から相談を受ける可能性はすべての教職員にあります。一人ひとりが障害について理解を深め、学生との対話でどのような合理的配慮が必要かを探り、支援方法を考えられるようになることが必要です。そこで、当研究所では特別支援教育に関する講義を「NISE学びラボ」としてインターネットで無料配信しています(図表②参照)。約170種類のコンテンツがあり、さまざまなニーズに対応しているため、これから私立大学の教職員が障害についての基本的な知識を得る手段として有用だと思います。

井上 合理的配慮が決定されるまでのプロセスを考え、整理しておくことも重要です。学生からの申し出があったときに提出してもらった根拠資料、大学教育の達成に

Case Study 駒澤大学

実際に大学が実践している障害のある学生支援の事例を紹介します。私立大学の中でも、早い段階から障害学生支援に取り組み、学生によるピアサポーターも活躍する駒澤大学。同大学で障害学生支援の窓口である学生支援センターに、具体的に行っている支援内容や、合意形成のプロセス、今後の課題についてのお話を伺いました。

■「合意形成」が大前提

本学ではこれまでに聴覚障害や視覚障害、肢体不自由、発達・精神障害の学生を受け入れており、2023年度は過去最多となる47名の障害のある学生が支援を受けています。障害ごとに支援内容は変わりますが、原則はほかの学生と同等の体験を提供するために、不足する部分をサポートする「合理的配慮」という考え方。ほかの学生と同じ場所で授業を受けますが、視覚障害があり小さな文字が読みづらい学生には文字サイズを拡大した資料を用意し、全盲の学生には、点字に変換した資料を渡せるよう点字プリンターを導入したこともあります。

身体に関わる障害は、必要とされる支援が比較的わかりやすいのですが、発達・精神障害は、事前にその人の症状を周りに理解してもらうことが基本です。そして、困りごととコミュニケーションなどについてフォローします。その中でも典型的な症状については、対処法をあらかじめ教員にお伝えし、対応をお願いしています。

障害学生支援の前提として、学生が求める支援と、サポートの主体となる教員が提供できるものを一致させるための「合意形成」があります。学生本人から支援を求める申し出があったら、障害学生支援コーディネーターが面談し、状況の聞き取りを行います。支援が必要となれば、学部長や学科主任を含めた面談で、どういった支援を要するかを話し合う。その後、「障がい学生支援委員会」の承認を経て、具体的な支援内容が書かれた支援決定通知書を各科目の教員にお渡しし、それに沿った支援をお願いしています。

■学生ピアサポーターも活躍

教員による支援だけではなく、在学生による、登録制で有償のピアサポーター制度も実施しています。現在約110名が登録しており、主な活動は、聴覚障害がある学生向けの「PCノートテイク」。2人のピアサポーターがペアになり聴覚障害学生とともに授業に出席し、講義内容をリアルタイムで伝えます。講義だけでなく、チャイムなどすべての音情報を文字に起こすことで、ほかの学生と同等の情報が得られるようにすること（情

報保障）が目的です。機械による音声認識を使えばいいのではと思われがちですが、指示語や専門用語を正しく認識することは難しく、文意をわかりやすく伝えるには、ノートテイクの協力が不可欠です。

実際にサポートを受けた学生からは、講義の聞き漏らしがないことに大変満足しているといった声が届いています。ピアサポーターの学生からも、「多様性を学ぶきっかけになった」「タイピングスキルの向上にもつながった」とポジティブな意見が寄せられました。

■支援のクオリティを維持

障害学生支援に、限られた人的リソースをどう配分していくかが今後の課題です。近年、発達・精神障害のある受験生は目立って増えています。カウンセリングで支障の一つひとつ拾い上げ、日常的に細かくサポートすることが必要となるため、支援に人と時間を要するのが事実です。さきほど紹介したピアサポーター110名でも、現在4名の聴覚障害学生に対して、ぎりぎりまわっている状態。さらに支援を求める学生が増えた場合のことを考え、アプリや機械を併用することも検討しているところです。

障害学生支援の基本的な考え方は「学びの本質を変えない」こと。本質を変えずに障害に応じて具体的な支援を提供することが必要であり、かつ、そのクオリティを維持することも必要です。そのためにどんな工夫ができるのか、次の大きな課題だと認識しています。B



入学式などの学校行事では、聴覚障害がある学生に、ピアサポーターが音声情報をパソコンで提供する。

おいてできること・できないことの基準設定、大学側に過度な負担が生じた場合の対策をどうするか。大学によって方針は異なるといいますが、プロセスが決まっていれば、支援をモニタリングして、改善することも容易になります。——学生と大学、双方の要求が対立した場合、過度な負担を理由に合理的配慮の提供を拒否することはできるのでしょうか。

井上 予算や人員の不足を理由に、一方的に拒絶することはできません。学生の要求100%は合意できなくても、対話によって「できること」を探す姿勢が求められます。

伊藤 よく挙げられる例ですが、車椅子を使用する学生がエレベーターの設置を希望したとします。予算や建物構造上の都合で設置できないとしても、学校はすぐに断るのではなく、別の方法で対応することが必要になります。例えば、1階の教室に変更をしたり、オンラインで講義に参加できるようにしたりといった提案を相互に出し合い、講義を受けられる方法を探します。こうして互いに建設的な

対話を重ねなければなりません。——合理的配慮の提供を求めるには、障害者手帳や診断書の提出などの条件があるのでしょうか。

井上 入学試験を受ける際に、時間の延長や別室受験などの配慮が考えられるので、試験の公平性を保つための基準として、障害者手帳や診断書の提出を条件とする大学が多いと思います。しかし、入学後の大学生活においては診断書の有無を問うべきではありません。生活に慣れて合理的配慮を必要としなくなる学生もいれば、学部の専門性が高まるにつれて支援の内容が変わってくることもあります。大切なのはその都度話し合って、合意形成を図ることです。

伊藤 進学希望者にとって、大学の支援状況は志望校を決めるための大切な判断材料になります。授業は座学が多いのか、フィールドワークに重きを置いているのか、少人数でのディスカッションや研究発表があるのか……入学前に授業の具体的なイメージができれば必要な支援も挙げられますし、大学側も環境を整えやすくなるはず

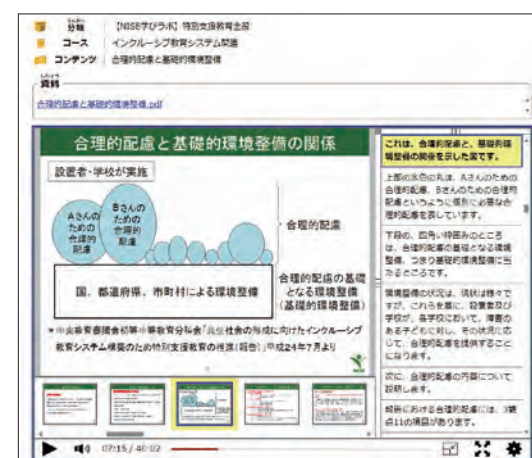
です。出願前に一度相談に来てほしい、という大学も増えています。——卒業後の就労に対する支援はどのように行われていますか。

伊藤 エントリーシートを作成して期日までに提出するといった事務的な面の支援や、ディスカッションやグループワークなど面接対策の支援もあります。就業前に、体調や時間管理のスキルを身につけた方がいい場合もありますね。

井上 仕事を得ることは大切ですが、就職がゴールではありません。卒業後も、自ら支援を求めて対話する力が必要です。既に就労している障害のある方の保護者がいうには、「学校在学中の合理的配慮は子どもを学びのスタートラインに立たせる手助けとなるもので、就労すると状況が変わる。企業は賃金の対価として、合理的配慮に見合う労働を期待しているように感じる」と。つまり合理的配慮を提供する必要があるかどうかを測っている。これは、障害のある人を、支援しなければならない存在としてみていることの表れです。

歴史的な偉人の中には、発達障害があったのではないかとと思われる方がいます。ダイバーシティの観点からも「支援がないとできない存在」ではなく、「環境によって、自分たちにはない能力を発揮できる存在」と考えることができれば、誰もが活躍できる環境を整える手がかりになるでしょう。大学もその視点に立ち、当事者との対話を積み重ねることができれば、今後の取り組みが変わってくるのではないかと期待しています。B

図表② 「NISE学びラボ」の受講画面



「NISE学びラボ」(https://labo.nise.go.jp/Elearning/View/Login/P_login.aspx)では特別支援教育についてのeラーニング講座を無料で受けることができます

維持会員通信

ここでは、維持会員の皆さまの活動や最新情報をお届けします。
学校改革や新規プロジェクトなどのご参考として、お役立てください。

MEMBERS



産学連携事業で 社会貢献に つながる学びを

▶ 法人名 片柳学園
▶ 大学名 東京工科大学



昨年11・12月、東京工科大学デザイン学部は観光庁による観光再始動事業の一環として、地元大田区の老舗銭湯「改正湯」でプロジェクションマッピング体験ツアーを企画しました。これは株式会社日本旅行と連携した取り組みで、ツアー客は足湯を楽しみながら学生のつくったコンテンツを鑑賞します。学生が自由な発想で解釈した日本文化のモチーフを盛り込み、日本の魅力を感じてもらうことを狙いとししました。学部では、学年が進むにつれ「視覚デザイン」「情報デザイン」「工業デザイン」「空間デザイン」の4つのコースに分かれて課題制作を行います。今回は、コースを横断して学生を集めた共創型のプロジェクトで

した。空間演出や映像制作だけでなく、手拭いをはじめとするグッズ、ツアー客をもてなすおみくじなど“銭湯で過ごす1時間の体験”を、それぞれの立場からデザイン・実践することができました。大田区の地域資源である銭湯(黒湯)を活かした取り組みは事業者にも大変喜ばれ、社会貢献にもつながったと考えています。本プロジェクトは、産学連携事業として限られた予算と期日までにコンテンツを納める必要がありました。学修課題の延長ではなく、実際の仕事として、着実に進め完成させるための意識づけを行うことに注意を払いました。さらに、授業の課題では自分の思うままに制作できますが、実際

のクライアントワークは違います。要望やリスクを勘案しながら何度も検討を重ねると、当然デザインの直しも多くなるため、根気強く取り組むように励ましながら進めました。学生からは「お客さんの反応を直接見ることができ、普段の課題では得られない経験だった」「みんなでこれだけのものを作り上げたことへの達成感や充実感が大きく、終わるのが寂しい」「国内外のお客さんとコミュニケーションをとり、各国のリアクションの違いが見られた。作り手としての手応えを感じられた」といったポジティブな声が多く集まりました。教員にとっても初めての取り組みで、手

探りの部分も多かったのですが、学生のもつポテンシャルを改めて認識することができた貴重な機会でした。このような産学連携事業は、技術的にも予算的にも、慎重な検討が必要となりますが、学部の教育や研究の可能性を拡げる大きな可能性を秘めています。今後も継続的に取り組む予定です。2024年度からの新カリキュラムでは、大田区が抱える課題を、学生と区役所と連携してアイデアを出し合うことで解決を目指す授業を設置します。これからも、デザインの学びを社会のなかで活かし、大学の学びの根幹である“実学主義教育”を実践していきます。



上／照射実験で意見を交わす学生たち。
下／日本のモチーフを活かしたコンテンツを、学生たちで企画・制作した。

自治体とともに 不登校児童の サポートを推進

▶ 法人名 園田学園
▶ 大学名 園田学園女子大学



上／不登校生徒支援ボランティア研修会の様子。下／研究会では実践的なロールプレイも行われた。

寄り添いの疑似体験が行われました。地域の不登校の現状や、さまざまな課題を抱える子どもたちにどのように関わるのかを体系的に、かつ実践的に学ぶ機会となります。参加者からは「実際にロールプレイを一緒に行うことで、子どもの気持ちへの寄り添い方の理解につながりました」「不登校生徒の心理について知ることができ、今後の自分に生かせる学びだった」という声が集まっています。この研修会からハートフルフレンドへの誘導も行っており、今年度は16名が登録・活動しています。研修会では、「こどもの育ち支援会議」が制作した「ハートフルフレンドハンドブック」を配布しています。このハンドブックは、不登校生徒の理解や、ハートフルフレンド育成の一助になるように企画したものです。不登校生徒の数は全国的に増加傾向です。背景は多様化しており、子どもの支援への社会的な要望も大きくなっています。園田学園女子大学は、今後も尼崎市と連携し、研修会やハートフルフレンド育成に取り組む予定です。子どもを理解し、温かなまなざしを持ったボランティアの方々が、子どもとの関係を築いて互いに成長していける活躍ができるよう祈っています。

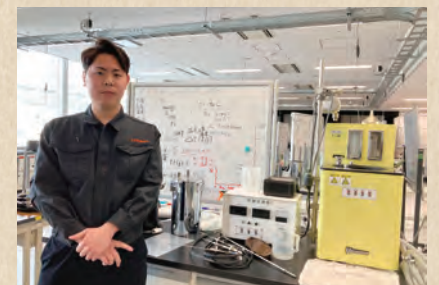
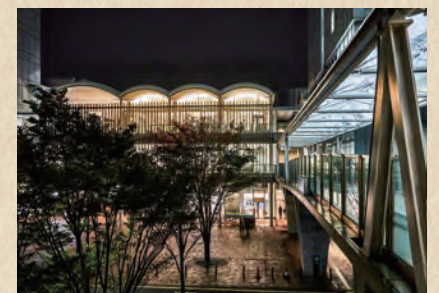
園田学園女子大学は2018年に、尼崎市教育委員会事務局のこども教育支援課と連携し、総合健康学科・人間看護学科・児童教育学科の教員有志と一緒に「こどもの育ち支援会議」を立ち上げました。学外との連携を担う社会連携委員会の委員、委員外教員の7名と事務局1名、尼崎市こども教育支援課から3名が参加しています。この会議では、不登校の児童・生徒を支えるための具体的支援について議論が続いています。昨年は、不登校児童(生徒)支援ボランティアの研修会「“子どもの心に寄りそう”ってどういうこと? ～私たちができる不登校生徒への支援～」を2回主催しました。不登校生徒の支援をしたい学生や教員を志望する本学の学生だけでなく、学外の方も対象としており、他学の教職員にもご参加いただきました。研修会では最初に、尼崎市教育委員会こども教育支援課から不登校の現状について説明がありました。その後、本学の教授による不登校生徒の心理に関する解説、ハートフルフレンド(ボランティアの学生・社会人が、不登校傾向の子どもとの交流を通し、心に寄り添うことを目的とする支援)活動に取り組む本学学生の体験談、ロールプレイによる

東京電機大学には、学生職員として働きながら工学部第二部で学ぶことのできる「はたらく学生入試」があります。この制度は、大学で学びたいという強い思いがあるにもかかわらず、経済的な事情等で断念せざるを得ない方をサポートするもので、2018年度にスタートしました。本学には以前から、学生として学びながら職員としても働ける仕組みがありました。しかし採用が入学後に行われるため、経済的な事情で学びを断念していた方の後押しにはなっていませんでした。「はたらく学生入試」制度では、合格と同時に学生職員としての採用が約束されるため、このような方を後押しできると考えています。本入試で入学した学生を含め50名を超える学生が、大学で働きながら卒業を目指し、勉強を続けています。学生職員の仕事内容は、実験室・実習室での業務、大学内の事務サポートや地域連携に至るまで、多岐にわたっています。昼間は大学で働きながら夜は大学で学ぶ工学部第二部の学生や、昼間は工学部で学びながら夜は工学部第二部の実験室で働く学生など、その働き方もさまざま。事前に学生職員の業務内容についてわかりやすくお知らせするとともに、配属先との

丁寧なマッチングを行い、4年間安心して学生生活を送ることができるよう心がけています。実際に、はたらく学生から伺ったお話をご紹介します。「学生職員になって良かったことは、働きながら身に付けた知識が、学業でも活かせることです。仕事に必要なシステムを開発したり、実験機器を修理したりしているうちに、プログラミングや電子工作の技術も身に付きました」(工学部 情報通信工学科3年生)「将来ものづくりに携わりたいという思いから、東京エリアで工学部の大学を探していました。しかし経済的に厳しい現実があり、条件に合うところはないかと調べて知った、はたらく学生入試に挑戦しました。働きながら学ぶことは大変だというイメージを持っている方もいると思います。体調管理や時間の使い方を工夫しながら、慣れてきた今は、とても充実した生活が送れています」(工学部第二部 機械工学科4年生)「はたらく学生入試」は、文部科学省から大学入学者選抜における好事例として取り上げられるなど、高い評価を受けています。本学ではこれからも、学生の「学びたい」という思いを尊重したサポートを推進してまいります。

「学びたい!」 その思いを支援する はたらく学生入試

▶ 法人名 東京電機大学
▶ 大学名 東京電機大学



上／夜の東京千住キャンパス。下／「はたらく学生入試」で工学部第二部へ入学した普久原勝哉さん。



関西大学理事長 芝井敬司

私立大学退職金財団 常務理事

守田芳秋

9つの構想の実践

守田 芝井理事長は2020年9月まで学長を務められ、10月から理事長に就任されたのですね。

芝井 コロナの真っ最中に、ご縁があって理事長になりました。こんな大変な時に理事長なんて、とも思いましたが、せっかくの機会ですので、当時正解のわからないコロナ対応に取り組みながらも、就任3カ月後に「これからの関西大学が目指すもの」と題して、9つのテーマを提示しました(図表参照)。それからの約4年間で、すべてのテーマについて、何らかの形で手を付けることはできています。

守田 これらの中で、特に順調な成果を見せているものはどの構想ですか？

芝井 「SDGs」は、2018年にプロジェクトを設置してから、全学をあげてSDGs達成へのムーブメント醸成に取り組んでいます。2022年には『アカデミアが挑むSDGs』という書籍にもなりました。

特に盛り上がりを見せているのは「大阪・関西万博2025」です。前回の大阪万

博は本学がある大阪府吹田市で開催されたという縁で、学生が自発的に「関大万博部」を設立しました。地元のスタートアップ企業と連携し、大阪ヘルスケアパビリオン「リボーンチャレンジ」での展示も予定しています。また、リアルとバーチャルで、本学キャンパスでも「関大万博」をやろうという話もあります。

前回の万博開催時、私は中学3年でした。「月の石」の展示は大行列で見られず、コートジボワール館に行ったら大歓迎されて、大柄な黒人男性に握手とハグをされたのが印象的でした。その時、世界の大きさや多様性をリアルに感じる事ができたんですね。若い時にビッグイベントを経験すると、人生に何らかの影響があります。そこは大事にしたいですね。

データサイエンスの新学部

守田 「新学部の構想」というのは、どのようなものでしょうか。

芝井 まず2023年10月、千里山キャンパスから2キロほど離れたところに、「吹

田みらいキャンパス」を開設しました。研修用の滞在施設が全244個室の「関西大学グローバルハウス」という国際学生寮に生まれ変わります。国内外の学生が共に生活し、多様な価値観を育む場にもなるでしょうね。

守田 “居抜き”キャンパスですね。

芝井 メディアにもそう呼ばれました。でも、SDGsの時代ですし、あるものをうまく活用すべきだと考えたのです。

守田 2025年にはビジネスデータサイエンス学部の開設を目指していると伺いました。どのような特徴の学部になるのでしょうか。

芝井 文理融合型でビジネスとデータサイエンスの両者を体系的に学びます。英語が教養のベースにあるように、今後はデータサイエンスもビジネスのベースになっていくはず。エンジニアの育成ではなく、ビジネス分野に根ざした知識も身につけられる場にします。さまざまな企業の協力を得て、授業では実データを用いる予定です。架空のデータが役に立たないとは言いませんが、実データを読

み解き、次のアクションを考えることが、実践的な人材の育成に繋がります。

2010年に開設した社会安全学部は、日本初の安全科学分野での学部でしたが、開設当初は他大学の追随がありませんでした。でも、お陰様で就職実績が堅調で、自治体や企業の危機管理分野でかなりのニーズがあります。少子化の今、新学部の設立はハードルが高いのですが、社会で必要とされる人材育成のためには、大学として意欲をもって取り組まなくてはならないと感じています。

守田 国際寮の開設もあるように、留学生の受け入れも課題の一つですね。

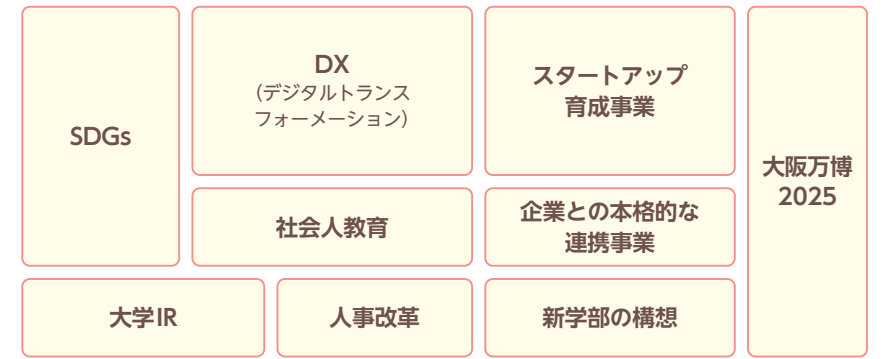
芝井 現在、約3万人の学生のうち、留学生は約1000人。コロナ禍でブレーキがかかったのち、最近は留学生の数が回復傾向にあるのですが、まだまだ少ないと感じています。本学には協定校が280くらいあるので、交換留学なども推進しています。日本人以外の学生の割合が高まれば、多様性によって生み出される価値は大事でしょう。だから私たちは、海外の学生に「学びたい」と思われる大学にならなくてはなりません。

学びを提供する大学の役割

守田 大学の門戸を広げるという意味では、いくつになっても高等教育を学べる環境作りも重要ですね。

芝井 国際化も多様性の一つで、とても大事なことです。私は、何歳であっても高等教育の機会を提供する場であることに、もっと重きを置きたいと思っ

●図表 関西大学が目指す9つの構想



ています。今の日本は、大学の取り組みが18歳から22歳を対象とした考え方で、卒業したら社会に出ていき、そのあと大学に戻る人はまだ少数です。世界に目を向けると、企業や自治体の上層部は修士や博士が大勢いるのに、日本では学士が大半です。社会に出てから大学に戻る人が少ない理由の一つに、修士号や博士号を取得しても、給料アップのような形で評価してもらえない点があります。社会の仕組みとして変えていくべきところですし、本学も大学院の強化は大きな課題の一つです。

守田 ビジネスデータサイエンス学部も、将来的には大学院まで作る予定なのでしょうか？

芝井 まだ仮定の話ですが、もちろん大学院を想定しています。

守田 関西大学は2022年に大学昇格100周年を迎えられました。100年を経ても変わらないこと、変わっていくべきことは何なのでしょう？

芝井 関西大学の前身は関西法律学校で、フランス法学者ボアソナードの弟子たちが設立したものです。1922年に千里山に学舎を新設し、法学部と商学部の2学部をもつ大学として認可されました。この時、総理事兼学長となった山岡

順太郎は、新しい大学の理念として「^{じっげ}学の実化」を掲げました。大学は教育研究に実社会の知識や経験を取り入れ、社会は大学の学術研究の成果を取り入れることによって、「学理と実際との調和」を求める考え方です。この調和が大切で、大学昇格から100年が過ぎても、この理念は確固として変わらないものとなっています。教育と研究は大学の二本柱ですが、2000年初頭から、そこに社会連携と国際活動も掲げました。これら4つの柱は普遍的な意義があり、今後も重要性を増していくはずですよ。

守田 社会連携の一つが、さきほどの話にも出ていた「何歳でも学べる高等教育の場」ということですね。

芝井 日本ではリスクリングなどが容易ではありません。働く期間と学ぶ期間をフレキシブルに捉えられる社会にしたいですね。海外では当たり前ですが、大学に来るルートを多様化するために科目等履修生をもっと生かすことも考えています。また、アメリカではカレッジリンク型老人ホームによって大学と社会が連携するように、何歳になっても、さまざまなことを学びたいという人たちに対して、高等教育を提供している大学が果たせる役割は大きいはずなのです。 **B**

編集後記

当財団第5代理事長の原田嘉中先生(学校法人千葉学園名誉理事長)が2024年2月21日にご逝去されました。理事長在任中は、当財団の変革期といえる重要な時代であり、現在の礎となる数多くの業績を残されました。特に退職資金準備資産の大幅な減少に対応すべく、学校経営状況の厳しさを十分に理解された上で掛金率の改正をご決断なさり先生のリーダーシップと将来を見据えた明確な目標により、維持会員の皆様

にご快諾をいただきました。現在も、維持会員の皆さまや当財団を取り巻く環境は大変に厳しいものがありますが、原田先生が示された「将来を見据えて、日本の私立大学等への貢献を目指すことが当財団の役割であり使命である」ことを改めて役職員一同で共有し、新たな思いで業務に取り組んでいく決意です。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

常務理事 守田芳秋